

# あさひ議会だより

35号  
平成26年  
12月1日  
発行



## おもな内容

議案の内容と審査結果	2～5
第3回定例会の日程	3
請願・陳情の審査結果	5
主な議案質疑	5
決算の審査	6～8
一般質問	9～13
常任委員会の審査	14・15
行政視察報告	15
議長のごさ	16

2014いきいき旭・産業まつり&ふるさとまつり・ひかた  
消防車の乗車体験をする子どもたち(11月9日/旭文化の杜公園)

# 定住促進奨励金交付事業などの

## 補正予算額10億8,380万円を可決、

# 平成26年度旭市一般会計予算総額

## 300億9,940万円

### 第3回定例会のあらまし

平成26年第3回定例会が、9月3日から9月25日までの23日間の会期で開かれました。

この定例会には、平成25年度一般会計決算、特別会計決算や企業会計決算、平成26年度一般会計補正予算、条例の制定や工事請負契約の締結など19議案が市長より提出され、原案のとおり、認定・可決されました。

なお、一般質問は9月9・10日の2日間の日程で行われ、10人の議員が登壇し市政全般にわたって議論が展開されました。

また、最終日の25日には、委員会から1件の発議案が提出され、全員賛成で原案のとおり可決されました。

## 議案の内容と審査結果

### 決算

(平成25年度)

議案第1号から議案第8号までは、平成25年度各会計の決算の認定等についてであり、監査委員の意見を付して議会の認定を求めるものです。

#### ■議案第1号

平成25年度旭市一般会計決算の認定について (認定)

歳入総額320億3,196万4,000円、歳出総額は289億5,543万4,000円となり、翌年度へ繰り越すべき

#### ■議案第2号

平成25年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について (認定)

事業勘定は、歳入総額93億9,536万469円、歳出総額90

財源10億8,915万6,000円を差し引いた実質収支は、19億8,737万4,000円となりました。



億1,209万4,740円で、差し引き3億8,326万5,729円については、平成26年度財政調整基金へ1億9,200万円を積み立て、残額1億9,28万9,218円、歳出総額7,963万5,713円で、差金とするものです。施設勘定は、歳入総額8,2

### 第3回定例会の日程

9月3日(水) (開会)

- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 議案の上げ
- 提案理由の説明並びに政務報告
- 議案の補足説明及び報告の説明

9月5日(金)

- 議案の質疑
- 決算審査特別委員会設置・委員の選任
- 決算審査特別委員会へ議案を付託
- 決算審査特別委員会委員長及び副委員長の当選結果報告
- 常任委員会へ議案・請願・陳情を付託

9月9日(火)

- 市政に関する一般質問

9月10日(水)

- 市政に関する一般質問

9月12日(金)

- 決算審査特別委員会

9月16日(火)

- 決算審査特別委員会

9月18日(木)

- 建設経済常任委員会

9月19日(金)

- 文教福祉常任委員会

9月22日(月)

- 総務常任委員会

9月25日(木)

- 決算審査特別委員長の議案報告

< 質疑・討論・採決 >

- 常任委員長の議案・請願・陳情報告

< 質疑・討論・採決 >

◇ 追加日程

- 議案上げ
  - 提案理由の説明
- < 質疑・討論・採決 >

- 事務報告

(閉会)

平成26年度旭市一般会計補正予算の議決について (可決)

歳入歳出にそれぞれ10億8,380万円を追加し、予算の総額を300億9,940万円とするものです。

歳入の主なものは、地域振興基金繰入金2,000万円、前年度繰越金9億6,109万5,000円、土地開発公社残余財産清算収入6,600万1,000

■ 議案第4号  
平成25年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について (認定)

歳入総額44億2,374万7,456円、歳出総額43億3,7

■ 議案第5号  
平成25年度旭市下水道事業特別会計決算の認定について (認定)

歳入総額7億2,002万2,392円、歳出総額6億5,3

■ 議案第6号  
平成25年度旭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について (認定)

歳入総額7,108万6,929円、歳出総額5,950万1,541円、差し引き1,158万5,388円となりました。

■ 議案第7号  
平成25年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について (可決及び認定)

年度末の給水状況は、給水件数1万9,388件、普及率は84.8パーセント、年間給水量は581万2,495立方メートルとなりました。

■ 議案第8号  
平成25年度旭市病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定について (可決及び認定)

入院患者数及び入所者数は年間延35万1,012人、外来患者数及び通所者数は年間延73万9,663人となりました。

■ 議案第9号  
平成26年度旭市一般会計補正予算の議決について (可決)

歳入歳出にそれぞれ10億8,380万円を追加し、予算の総額を300億9,940万円とするものです。

■ 議案第3号  
平成25年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について (認定)

歳入総額4億7,569万4,616円、歳出総額4億6,164万8,503円、差し引き1,404万6,113円となりました。

■ 議案第4号  
平成25年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について (認定)

歳入総額44億2,374万7,456円、歳出総額43億3,7

■ 議案第5号  
平成25年度旭市下水道事業特別会計決算の認定について (認定)

歳入総額7億2,002万2,392円、歳出総額6億5,3

■ 議案第6号  
平成25年度旭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について (認定)

歳入総額7,108万6,929円、歳出総額5,950万1,541円、差し引き1,158万5,388円となりました。

■ 議案第7号  
平成25年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について (可決及び認定)

年度末の給水状況は、給水件数1万9,388件、普及率は84.8パーセント、年間給水量は581万2,495立方メートルとなりました。

■ 議案第8号  
平成25年度旭市病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定について (可決及び認定)

入院患者数及び入所者数は年間延35万1,012人、外来患者数及び通所者数は年間延73万9,663人となりました。

し引き265万3,505円となり、平成26年度財政調整基金へ133万円を積み立て、残額132万3,505円は繰越金とするものです。

84万383円、差し引き8,590万7,073円となりました。

平成25年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について (可決及び認定)

年度末の給水状況は、給水件数1万9,388件、普及率は84.8パーセント、年間給水量は581万2,495立方メートルとなりました。

平成25年度旭市病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定について (可決及び認定)

入院患者数及び入所者数は年間延35万1,012人、外来患者数及び通所者数は年間延73万9,663人となりました。

547万3,155円は、当年度分損益勘定留保資金等で補いました。



建設中の医師宿舎

0円を増額するものです。  
歳出の主なものは、財政調整基金積立に10億円、電子計算費に1,180万6,000円、地域振興費に2,100万円、障害者福祉費に1,763万5,000円、予防費に2,268万1,000円を増額するものです。

## 条例の制定・一部改正

### ■議案第10号

旭市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について  
(可決)

質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の量



市内各保育所は基準内で運営されている(共和保育園)

的拡大及び確保並びに地域における子ども・子育て支援の充実を図るため、子ども・子育て連3法が成立し、子ども・子育て支援の新たな制度が創設されました。この新制度では、給付費の支給を受ける施設等として、旭市の確認を受ける必要があるため、その基準を定めるものです。

### ■議案第11号

旭市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について  
(可決)

児童福祉法が改正され、家庭的保育事業等が、新たに市町村の認可事業として児童福祉法に位置付けられたため、家庭的保育事業等を行う事業者は、旭市の認可を受けることとなり、その認可基準を定めるものです。

### ■議案第12号

旭市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について  
(可決)

子ども・子育て新制度では、児童福祉法が改正され、放課後児童健全育成事業について、関係施設を運営するには明確な

基準のもとに運営されることとなり、その基準を定めるものです。

### ■議案第13号

東日本大震災による被災住宅の建替住宅等に係る固定資産税等の減免の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
(可決)

この条例は、平成24年3月28日に公布され、震災により住宅等が半壊以上の被害を受け、住宅の建て替えや取得した場合に固定資産税の減免を行うもので、被災者の住宅取得が停滞していることなどから取得期限を平成26年12月31日から平成29年12月31日まで3年間延長するため改正するものです。

### ■議案第14号

旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について  
(可決)

旭市口の1631番地1に設置されている新田幽学児童遊園は、利用児童数の減少と遊具の老朽化のため、また、旭市飯岡520番地に設置されている飯岡児童遊園は、地域の児童数の減少と遊具の老朽化及び、周



廃止された新田幽学児童遊園

辺に民家も無く防犯上も問題があるため、それぞれ児童遊園の廃止届が提出されたことから、この2つの児童遊園を平成26年9月末をもって廃止するものです。

### ■議案第15号

旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

今回の改正は、平成25年8月15日に京都府福知山市花火大会会場で、死者3名、負傷者56名が発生した火災を踏まえ、祭礼・縁日、花火大会、展示会その他の多数の者の集合する催しで、火を使用するコンロなどの器具及びその使用に際し、消火器の準備と露店等の開設届を義務付

るものです。

また、屋外での催しで大規模なものとして消防長が定める要件に該当するもので、火災が発生した場合に人命または財産に特に重大な被害を与えるおそれのあるものを指定催しとして指定して、主催者が火災予防上必要な業務に関する計画を消防長に提出しなかった場合、30万円以下の罰金を科すものです。

## 工事請負契約

### ■議案第17号

工事請負契約の締結について  
(可決)

旭市道の駅建設工事(建築・外構)について、一般競争入札を執行し、仮契約を締結したので、議会の議決を求めます。

#### ●契約金額

3億8,199万6,000円

#### ●契約の相手方

旭市二の1469番地  
株式会社伊藤工務店

### ■議案第18号

工事請負契約の締結について  
(可決)

(可決)

## 請願・陳情の審査結果

第3回定例会では、請願1件、陳情1件の審査が行われました。審査の結果は次のとおりです。

区分	件名	審査結果
請願第3号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願	採択
陳情第3号	日本国憲法第九条にノーベル平和賞の受賞をとの請願の提出を求める陳情	不採択

旭市道の駅建設工事(機械設備)について、一般競争入札を執行し、仮契約を締結したので、議会の議決を求めるものです。

● 契約金額

1億5,660万円

● 契約の相手方

旭市二の1710番地

株式会社石川商会住宅機材

## その他の議案

### ■ 議案第16号

千葉市ほか10市1町8一部事務組合消防指令事務協議会規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について (可決)

地方自治法の一部を改正する法律が平成26年5月30日に公布されたことから、千葉市ほか10市1町8一部事務組合消防指令事務協議会規約第1条において引用する地方自治法の条文に相違が生じることに伴い、同条について必要な改正を行うものです。

### ■ 議案第19号

訴えの提起について (可決)

旧海上中学校跡地の一部で抵当権設定登記がされている土地について市が保有する所有権に基づき、抵当権者の相続人に対し抵当権設定登記の抹消登記手続を求めるものです。

## 委員会提出議案

### ■ 発議第1号

手話言語法制定を求める意見書

の提出について (可決)

## 報告

### ■ 報告第1号

平成25年度旭市土地開発基金の運用状況について

### ■ 報告第2号

平成25年度旭市奨学基金の運用状況について

### ■ 報告第3号

平成25年度旭市高額療養費貸付基金の運用状況について

### ■ 報告第4号

## 主な議案質疑

### ■ 議案第1号

平成25年度旭市一般会計決算の認定について

**Q** 歳入の土地売却収入、物品売却収入、一般寄附金、災害見舞金、農業費寄附金の具体的な内容についてお尋ねします。

(木内欽市議員)

**A** 土地売却収入は、インターネットによる売却が1件

平成25年度決算に基づく旭市の健全化判断比率について

### ■ 報告第5号

平成25年度の旭市公営企業決算における資金不足比率について

### ■ 報告第6号

平成25年度旭市病院事業会計継続費の精算について

### ■ 報告第7号

株式会社千葉県食肉公社の事業経営状況について

### ■ 報告第8号

私債権等の放棄について

通信指令装置撤去工事に伴う金属等の売却7万2,135円、合計で18万7,135円です。

一般寄附金については、企業、団体等から1件50万円、個人から3件18万円、計4件で68万円です。

災害見舞金は、さまざまな団体及び個人から、98件794万7,243円の寄附がありました。農業費寄附金は、企業、団体等から2件で、305万円の寄附がありました。

**Q** 中小企業復旧支援事業の具体的な内容についてお尋ねします。

(木内欽市議員)

**A** 中小企業復旧支援事業については、国、県の支援を受けられない事業者に対し、市単独の支援として、東日本大震災により被害を受けた34の中小企業の事業者、経営再建に必要な施設及び設備の復旧に要する経費に総額2,962万3,000円を補助したものです。事業者の業種については、飲食業、宿泊業、石材業、自動車解体業、床屋さん等、多種多様の業種の方に支援をさせていただきました。

# 決算審査特別委員会を設置 平成25年度の執行状況をチェック



決算審査特別委員会での審査

決算審査特別委員会が9月5日に設置され、委員9名の選出とともに委員長に島田和雄議員、副委員長に太田将範議員が選出されました。決算の審査は、9月12日・16日の両日に、市執行部より副市長、教育長ほか関係職員が出席し、平成25年度一般会計決算をはじめ6議案の認定と2議案の可決及び認定の可否について慎重な審議が行われました。審査は一般会計から順次行い、それぞれの執行状況を細部にわたり活発な質疑が展開され、審査の結果、6議案は全員賛成で認定することに決し、2議案は全員賛成で可決及び認定するものと決して本会議に報告されました。審査の項目は多岐にわたりましたので、その一部として主な審査内容を紹介します。なお、審議議案並びに委員会の構成は別表のとおりです。

9月12日、16日の二日間決算審査特別委員会が開催され、付託された8議案について、審査を行いました。審査内容について、主な質疑とその答弁の内容は次のとおりです。

## 主な質疑内容

### ■議案第1号

平成25年度旭市一般会計決算の認定について

**Q** 市税の1億2,984万2,253円の不納欠損額の内容についてお尋ねします。

**Q** 差し押さえ処分の中で動産の差し押さえがないのはなぜか。

**A** 現在はやっていません。これから来年度にかけマニユ

**A** 5年時効の額が8,750万7,350円、件数は6,949件です。それから、執行停止で3年時効が1,937万1,795円、件数は1,047件です。

また、会社等倒産による即時消滅が2,296万3,118円、件数は509件です。合わせて、1億2,984万2,253円となります。

**Q** 地方揮発油譲与税の内容についてお尋ねします。

**A** 地方揮発油譲与税は揮発油1キロリットル当たり5,

200円であり、この内の100分の58が都道府県と指定都市へ、残りの100分の42が市町村に配分されるということで、県内の市町村の分け方については、道路の延長や面積で按分されます。

**Q** 財政調整基金について、これからの見通しをお尋ねし

ます。

**A** 旭市は52億4,500万円です、将来の見込みはこれからの歳入歳出の状況によって変わってきますが、少なくとも交付税が減るまでは毎年少しずつ増えていくと考えています。

**Q** 「がんばろう！旭」復興支援事業の中で、花と緑で旭を元気にするプロジェクトの場所はどこか。

**A** 千葉大園芸学部の学生と地元がコラボして地域に花いっぱい運動を展開しています。場所は、いいおか荘のプールの南側と、八軒町の集会所等です。



いいおか荘前の花壇

**Q** 定住促進事業は効果があり47人が新たに増えたということですが、匠瑳市では地元業者を使った場合にも補助金を出すと聞いています。それらも今後検討していただきたいが。

**A** 匠瑳市は市内の業者に頼んだ場合には20万円をプラスして70万円の助成をするということですが、その辺も含めて今後検討させていただきたいと思っています。

**Q** 人件費について、合併後10年経った中で、旭市としての適正な職員定数を何人としているのか。

**A** 第二次の定員適正化計画に基づいて削減してきました。次期計画については、地域の特性、保育所の数や公共施設の状況をみて、旭の職員数を作らなければならぬと考えています。

**Q** 地域生活支援事業、自立支援給付事業がかなり膨らんでいるが、今後の推移は。

**A** 高齢者が障害認定を受けて障害者となるとというのが年々増加しており、ほかの障害者の数と比べて、この傾向はしばらく続くと考えています。

**Q** がん検診事業について、精密検査された方はどれくらいいるのかお尋ねします。

**A** 平成25年度のがん検診受診者数は延べで3万934人で、受診率は27・4%です。この中で、精密検査者数が1,272名、率で4・1%です。

**Q** 市街地液状化対策事業について、こういった事業をやる場合の費用はどのくらいかかるのか。

**A** モデル地区を5地区設定し、それぞれの地区について費用を算定しました。1番安いところで宅地1平方メートル当たり3万1,000円、平均的な宅地60坪くらいの面積で1戸当たり620万円という金額になります。一番高い所では、6万8,000円、60坪で想定すると1,360万円という金額です。

**Q** 生活保護扶助費の支給人数及び支給額の見直しがあるのかお伺いします。

**A** 支給人数は、医療扶助310人、介護扶助50人、教育扶助12人、住宅扶助235人、生活扶助347人、生業扶助7

人、葬祭扶助5人です。見直しは、最低賃金等を勘案して基準改定が年1回あります。



整備された中谷里地先の保安林

**Q** 保安林植栽事業に関し、植栽工事を行った面積と内容についてお尋ねします。

**A** 保安林植栽事業については、中谷里地先の市有保安林、866平方メートルにクロマツを526本、トベラを135本、マサキを135本、計796本を植栽しました。

**Q** 育英資金給付事業の詳しい給付状況をお尋ねします。

**A** 育英資金の本年度の支給状況は、高校生8名、専門学校生1名、短大生4名、大学生

27名を支給対象としていただいております。

**Q** 配食サービス事業委託料で、利用者数は何人なのか。また、その利用された方の支払い方法をお伺いします。

**A** 人数は、11人です。支払い方法は、事業所が集金していただきます。

**Q** コミュニケーション支援事業委託料は、手話通訳の関係を頼む場合、一定の基準を設けているのか。また、旭市には手話通訳をする人は何人いるのか。

**A** 耳の不自由な方が病院を受診する時に依頼することができず、私たちが会話をすると同じように手話通訳を使う人も会話をしたいということで行っています。手話通訳者は、旭市でボランティアとして行方はいませんが、正式な通訳者としては把握していません。依頼するときには、遠方から来ていただくのが実情です。

**Q** こども発達センター運営事業、これは児童福祉法に基づき児童発達支援事業という中

で、なぜ国等からの財源はなく、一般財源なのかをお尋ねします。

**A** 市が事業所になり、事業を展開しています。ほかの社会福祉法人が運営したりするのと同じ形で市が事業所として運営しているものです。

**Q** 緊急通報システム事業で、システム機材の地区別設置台数は。

**A** 旭地域が133台、海上地域が27台、飯岡地域が30台、千潟地域が9台、合計199台です。

**Q** 放課後児童クラブはかなり整備されてきましたが、今

後はどういうふうを考えているのか。

**A** 放課後児童クラブは、昨年度鳴鳴小学校を新しくし、その前は共和小学校を単独で新しくしました。

現在、琴田小学校と千潟小学校に新しく児童クラブの建物を専用施設として建設をしています。市内の状況を見ると、現在建設中の琴田小、千潟小学校の建設が完了すると、おおむね基準に沿った面積が確保できることから現時点では新しい施設の検討はしていません。

**Q** グループホーム運営費等の補助事業で、利用者は何人か。また、施設数と、どのような障害者が利用しているのかお伺いします。

**A** 利用者は30人で、グループホームは他市町含めて13事業所です。精神、身体、知的の障害者が利用しています。

**Q** 住宅用太陽光発電システム設置助成事業で、平成22年から25年までの件数と金額は。

**A** 平成22年度33件で、補助額は284万8,000円、23年度49件で、補助額は433



共和小の放課後児童クラブ

万7,000円、24年度73件で、補助額は693万3,000円、25年度127件で、補助額は1,170万2,000円です。

**Q** グリーンパーク改修工事の内容についてお尋ねします。

**A** グリーンパークの排水施設整備工事が主なものです。

**Q** さわやか畜産総合展開事業の実績をお尋ねします。

**A** 平成25年度、浄化槽にたまった汚泥を脱水して堆肥化する機械の導入2件と、堆肥を攪拌して無臭化する機械の導入1件がありました。

**Q** 小学校スクールカウンセラー配置事業と中学校スクールカウンセラー配置事業の人数及び配置状況、時間数をお尋ねします。

**A** 市教委に1人、中学校に1人ずつの計6名で、市内の小中学校15校に対して、その要望に応じて、あるいは状況を見ながら年間300時間の中で対応しており、小・中両方とも校区に応じて巡回しているところです。

**Q** 25年度末の公債費の中で、臨時財政対策債の残高と合併特例債の残高に対して、国の市に対する交付税措置についてお伺いします。

**A** 25年度の期末残高は臨時財政対策債が117億1,058万3,000円、合併特例債が100億6,389万7,000円ですが、国では今のところ臨時財政対策債という制度により、交付税にこの償還額を算入しているところです。合併特例債については100%が基準財政需要額に算入され、交付税措置されるものです。

**Q** 合併特例債について、国は何年間、交付税算入するよくな仕組みになっているのか。臨時財政特例債は何年間、交付税に算入されるのか。

**A** 合併特例債は、10年で返すものと、15年で返すものと2種類ありますので、この返済の年数だけ交付税算入するということです。臨時財政対策債については20年ということであり、20年間交付税に算入されるということです。

■議案第5号



旭中央汚水ポンプ場

平成25年度旭市下水道事業特別会計決算の認定について

**Q** 下水道の接続率が悪いが今後どのように考えていくのか。

**A** すでに合併処理浄化槽等が使われており、今後それから下水道に接続を切り替えていただくということで推進しているところです。

■議案第7号

平成25年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

**Q** 古い管では35年が経過した後、市内全体で工事をやっている計画は。

**A** 条件の悪いところから少しずつやっていくというところで考えています。

■議案第8号

平成25年度旭市病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

**Q** ダ・ヴィンチやIMRT等の最先端の器具を使っていますが、診療に対してどのくらい貢献していますか。

**A** ダ・ヴィンチは前立腺がんの手術で前年度で約30件、今年度は半年で20件実施しています。それ以外に胃がんの手術で5件ほど実施している状況です。

IMRTについては5件の治療を行っているところです。

**Q** 雑損失の取り立て欠損金とは、どういうものなのか。

**A** 行方が分からなくなったり、海外の方で、全く連絡がとれなくなってしまった方々について、取り立て不納欠損金という形で処理しました。

決算審査特別委員会に審査を付託された議案

- 議案第1号 平成25年度旭市一般会計決算の認定について
- 議案第2号 平成25年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
- 議案第3号 平成25年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- 議案第4号 平成25年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について
- 議案第5号 平成25年度旭市下水道事業特別会計決算の認定について
- 議案第6号 平成25年度旭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について
- 議案第7号 平成25年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- 議案第8号 平成25年度旭市病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

決算審査特別委員会の構成

決算審査特別委員会委員は、各常任委員会(総務・文教福祉・建設経済)から3名ずつ選出された9名で構成されています。

委員長	島田 和雄(文教福祉)
副委員長	太田 将範(総務)
委員	木内 欽市(総務)
	滑川 公英(建設経済)
	景山岩三郎(文教福祉)
	向後 悦世(総務)
	伊藤 房代(文教福祉)
	宮澤 芳雄(建設経済)
	飯嶋 正利(建設経済)

# 一般質問

市政に関する一般質問は9月9・10日の2日間行われ、10人の議員が登場しました。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

## 新庁舎建設

建設単価が高騰しているが

(飯嶋正利議員)

**Q** 新庁舎の建設場所と、建設単価が高騰している中の建設時期についてお尋ねします。

**A** 建設場所については、4か所の建設候補地から、総合計画等との整合性や地域貢献性、まちづくりとの整合性はどうか。また、経済性として、建設費や給排水、道路整備等のインフラ整備等々を調査検討し



現在の旭市役所

策定した新庁舎位置の検討資料により、建設場所の選定作業を進めています。

本市においては、現庁舎の建設が昭和39年と築後50年を経過しており、耐震性も不足しています。発生が懸念されている大規模地震等に十分耐え得る状況ではなく、防災機能上からも早期建設が肝要と考えます。

## 旭中央病院

介護保険事業の今後の方針は

(林晴道議員)

**Q** 老人福祉施設においては老朽化が非常に目につきます。需要が増える介護事業で老人福祉施設は病院の附属事業なのか。適正な運営を再構築していくのか。本市の構想や展望、市長の力強い事業方針が必要だと思いますが、お伺いします。

**A** 本市が地域包括ケアシステムを構築する上では、市立病院である旭中央病院は医療と介護の重要な役割を担っています。老人福祉施設については、築年数も経過していますので、

今後の方針は十分に病院側、そしてまた市民、議会とも協議していく必要があると考えています。

病院の機能分離が必要では

(林晴道議員)

**Q** 厚生労働省は、医療機関の役割分担を推奨しており、紹介・逆紹介率を上げなければ病院経営が厳しい状況に陥ります。当地域医療連携機関と十分に協議、ご協力をいただき、市内に200床程度の回復期や慢性期の病院を分院するなどの検討が必要ではないのか。

**A** 市内に200床から300床程度の回復期や慢性期の病院を分院することについては、経営的に考えると非常に難しいと考えています。

なお、全国的には、長野の佐久総合病院が平成26年の再整備時に機能を分離、また松本市の相澤病院が、今後急性期と回復期、慢性期の施設を別にする計画と聞いています。

## 一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。



飯嶋 正利  
議員

- 1 新庁舎建設について
- 2 夏期観光について
- 3 米の価格について
- 4 都市計画について



伊藤 保  
議員

- 1 国土強靱化地域計画について
- 2 空き家対策について
- 3 防災について
- 4 地域包括支援センターの活動について



高橋 秀典  
議員

- 1 全国学力・学習状況調査について
- 2 オリリンピック・パラリンピック練習招致について
- 3 国土強靱化地域計画策定モデル調査について
- 4 災害協定について
- 5 自主防災組織について

## 独法化の真意は

(滑川公英議員)

**Q** 昨年の公的な経営検討委員会は「独法化を速やかに」となりました。議会も病院も病院をよくしたいという目的は同じですが、6年前の委員会と昨年の委員会では異なる形態を主張した旭中央病院の真意はどこにあるのか。

**A** 平成20年当時は統合ヘルステクアネットワーク構想というものが、その推進のために民間化が望ましいという報告がされました。また、昨年の検討委員会の報告では公設公営を前提として検討がなされ、その結果として地方独立行政法人化が望ましいとの報告がされています。

いずれも、その時点での検討結果を受けて協議を重ね、対応しているものです。

## 独法化と医師の招聘は

(米本弥一郎議員)

**Q** 総合病院国保旭中央病院の経営形態を地方独立行政法人にすると、医師の招聘は

しやすくなるかお伺いします。また、自分が地方公務員でなくなる職員の皆さんの不安は取り除けたか。

**A** 指導的立場にある医師を招聘するためには、従来公務員型の給与体系や給与水準では限界があり、独立行政法人化によって個別契約、いわゆる年俸制による柔軟な給与設定ができるようになれば、招聘がしやすくなるものと考えています。

また、職員に主に雇用の確保、給与体系、共済組合の関係、退職金などについて不安を抱えていることがうかがえますので、説明に当たっては丁寧に説明し、理解を得たいと考えています。

## 周辺の自治体からの運営負担を

(島田和雄議員)

**Q** 平成22年に行政視察をした滋賀県彦根市では医療の市から負担金を受けて運営について、彦根市立病院が周辺の市から負担金を受けて運営を行っているという事例がありました。このような取り組みができませんか。

**A** 彦根市の休日急病診療所は複数の自治体が運営負担について協定を結んでいます。その協定は、設立の協議と合わせて行われたということになっており、今の中央病院では不可能かと考えています。

今後は、先般6月18日に、医療・介護総合推進法案が国会を通過して、27年度には県が地域医療ビジョンの策定をする予定で、その過程の中で機能分化や機能強化、連携等についてさまざまな協議が行われていくこととなります。

千葉県東部の医療の将来を考えた場合には、県を巻き込んだ形で、関係市町村間でさまざまな協議をこれから行っていくことは重要なことだと考えています。

## 観光

## 夏期観光の入り込み客数は

(飯嶋正利議員)

**Q** 夏期観光について、今年度の観光客の入り込み客数状況についてお伺いします。

**A** 海水浴場は本年7月12日から8月24日まで44日間開設しました。矢指ヶ浦海水浴場の入り込み客は1万2,045人、飯岡海水浴場8,258人、合計で2万303人となっています。

いいおかY・O・U・遊フェスティバルは7月26日、27日の2日間開催され12万人の来場者、七夕市民まつりは本年8月6日、7日の2日間開催され12万7,000人の来場者、市営海浜プールは、7月19日から8月31日まで40日間開設し、合計で6,478人の来場者があります。

今後の課題として、イベント会場の条件によっては、駐車場から会場までのシャトルバスの運行や市内の飲食店との連携を考えています。

## 道の駅

## 駅長は広く公募で

(有田恵子議員)

**Q** 道の駅というのは、本当に難しい商売です。旭市役所退職予定の課長が内



有田 恵子  
議員

- 1 いいおか荘貸付について
- 2 フィールド・コミッション(F・C)の導入について
- 3 道の駅について
- 4 三川蛇園線整備事業について
- 5 袋公園用地買取契約について



太田 将範  
議員

- 1 市税の滞納整理について
- 2 市税の納税緩和措置について
- 3 学校図書館の充実について
- 4 市内小・中学校のエアコン設置について
- 5 中小企業振興条例について
- 6 小規模企業振興基本法について



滑川 公英  
議員

- 1 いいおか荘について
- 2 来年度一般会計予算について

# 国土強靱化地域計画



造成工事が始まった道の駅

## 計画の内容は

(伊藤保議員)

**Q** この5月には都道府県、市町村に対する国土強靱化地域計画の策定支援も開始されました。策定モデル調査に係る第一次実施団体に旭市が入っています。この計画の概要について伺います。

**A** 国土強靱化地域計画は、大規模な自然災害が発生しても被害を最小に抑え、速やかに復興できるように計画するものです。本計画の策定方法の特徴としては、地域が持つ脆弱性を、真つさらの状態から評価することから始めなければなりません。

**A** 駅長の選定については、公務員だから駄目だということとは全然ないというように思っています。駅長は、個人の資質、人間性やキャリア、見識が本当に大事だと思っています。ところで、他薦、自薦、推薦で応募された方の中で、選定委員会を開き、選定をしたわけです。

**Q** 旭市自身の強靱化はもちろんです。他の地域の支援に回らなくてはならない事態も想定できます。首都直下型地震で都市部が壊滅的打撃をこうむったような事態では、旭市の食料供給基地としての機能、中央病院の災害拠点病院としての機能を考えると、旭市の果たすべき役割は大きいといえます。

**A** 現在は旭市の脆弱性の評価に取り掛かっているところですが、旭市には弱さもあれば他に誇れる強みもあります。策定にあたり、国土強靱化に寄与すべき旭市の特質として配慮してまいります。具体的な強みとしては、食料供給機能、中央病院の存在とともに、東日本大震災の被災経験による様々な教訓を生かした地域の強靱性の発揮という3点があげられます。他地域に対して旭市の果たすべき役割について検証し、より広範な旭市の備えを図ってまいります。

## 非常時における旭市の役割強化を

(高橋秀典議員)

今後は、学識経験者、国、県を含めた検討委員会を設置して、策定を進めていきます。

## 防災

### 洪水ハザードマップの早期作成を

(伊藤保議員)

**Q** 平成19年度に作成した旭地域防災計画の第1章、災害予防計画の中に、「水害危険区域について以下の状況の把握に努め、洪水ハザードマップ等の作成・公表等により周知する」と出ていましたが、まだ作られていません。これはここに書いてある以上、早急に作っていただきたいと思いますが。

**A** 次回の防災計画を作る時に、新川の氾濫も想定し



新川堰水門

- 3 国営大利用用土地利用改良事業について
- 4 旭中央病院について



林 晴道  
議員

- 1 地域包括ケアシステムについて
- 2 地域医療連携について



伊藤 房代  
議員

- 1 認知症サポーター養成講座について
- 2 介護認定について
- 3 放課後児童クラブの充実について



米本 弥一郎  
議員

- 1 総合病院国保旭中央病院の経営形態について
- 2 保育所、小・中学校における児童・生徒の安全確保について

ながら、県、土地改良区とも協議し、水害のシミュレーションを立てて、水害ハザードマップの作成にも目を向けて防災計画を改正していきたいと考えています。

## 土砂災害の対応は

(島田和雄議員)

**Q** 広島県の豪雨による土砂災害、あるいは昨年の大島の土砂災害等に鑑みて、旭市でも考えられる土砂災害について市民を守るための対応はどのように考えているのか。

**A** 市では、大雨警報、洪水警報等が発表された場合、総務課職員をはじめ建設課職員、農水産課職員などが地域防災計画の配備基準により、昼夜を問わず緊急登庁することになっていきます。市内にも急傾斜地を抱える地域があるため、市として台風や各種警報等の発表には職員が注意を払っています。今回の台風を教訓にし、災害対策本部において状況を的確に把握し、多様な災害に対応できるよう、避難指示の周知方法等、新たなマニュアル作りを考えていきたいと思います。

## 全国学力・学習状況調査

### 保護者向け分析結果のレポートを

(高橋秀典議員)

**Q** 今年4月、全国の小6、中3を対象に全国学力・

学習状況調査として、いわゆる学力テストと生活や学習状況に関する調査が実施されました。家庭教育啓発のためにも、保護者向けの分析結果のレポートをお願いしたいかがでしょうか。

**A** 文科省によれば、平均正答率が高い児童・生徒ほど、朝食を毎日食べる、学校以外での学習時間が長い、携帯やスマートフォンの利用時間が短いといった指摘があり、学力と家庭での過ごし方に一定の関係があると考えています。旭市では、学校以外で1日2時間以上学習する児童生徒の割合が全国平均より低く、小学生がテレビやゲーム・スマートフォンの充てる時間が全国平均より長いという傾向が分かりました。

調査結果を踏まえて家庭教育

啓発のためのパンフレットを作成してまいります。

## 三川蛇園線整備事業

### 費用対効果は

(有田恵子議員)

**Q** 三川蛇園線整備事業について、合併時、平成17年新市建設計画での道路新設事業について、三川蛇園線はありません。0207号、0208号とは一体どの線なのでしょう。また、環境保全コスト・修正建設コスト・用地費・維持費・維持管理費等、コストに対する

便益について、前は1・68と

いう費用対効果の数値が出ましたが、今、普通に計算したらどれだけ出るか教えていただきたい。

**A** 0207号線は、国道126号飯岡バイパスから蛇園線の区内に向かっていく路線です。0208号線は、途中から、通称大坂と呼ばれているところから、鶴巻保育園・鶴巻小学校へ向けて行くルートです。

現在、費用対効果の修正は、J・R並びに公安委員会等々ただ結論が出ていません。したがって、分母とすべきコスト分が算出できない状況ですので、現在は費用対効果の修正分は計算できません。

## 道路

### 安全対策の進捗状況は

(米本弥一郎議員)

**Q** 保育所、小・中学校における児童・生徒の通学路の安全確保について、緊急合同点検が実施され、うち市が事業主体の64か所のうち9か所は対応を検討中ということでありま



島田 和雄 議員

- 1 災害(豪雨)について
- 2 旭中央病院の経営基盤の強化について
- 3 水田農業について
- 4 介護保険の見直し法案の影響について

した。これらの対策、検討の進捗状況をお伺いします。

**A** 対策内容が歩車道の分離、車両の速度が速い、交通量が多い、横断歩道の待機場所がない等であり、これらにつきましては道路管理者単独での改善が難しいため、関係機関等との協議・連携を図り、検討を重ねていきたいと考えています。

## 市税

### 市税の滞納状況は

(太田将範議員)

**Q** 市税の滞納はどの程度あるのか。

**A** 25年度末で市民税、固定資産税、都市計画税、軽



整備中の三川蛇園線

自動車税、特別土地保有税について、法人も含めた滞納者は6,047名、滞納金額については11億7,599万458円です。これについては、滞納処分強化により、昨年度と比べ1億879万3,085円の減となっています。

国民健康保険税については、滞納者が3,417名、滞納金額は11億1,536万7,954円です。市税と同様に滞納処分の強化により、昨年度に比べ1億750万489円の減となっています。

滞納の主な原因は、納税意識の欠如が最も多く、次いで生活困窮、失業、病気、倒産、経営不振などによる一時的な収入の低下、ローンなどの返済等の事情によるものと考えています。

## 商業振興

### 小規模企業支援に対する市の責務は

(太田将範議員)

**Q** 小規模企業振興基本法の概要説明を求めるとともに、この法律を実施する上で地

方自治体の果たす役割と市の責務、今後の方向についてお尋ねします。

**A** この法律の中では、国・地方公共団体・支援機関等関係機関相互の連携及び協力を責務としてうたわれています。

法律の中で、国の責務として小規模企業の施策の体系を示す5か年間の基本計画を現在策定しているところと聞いています。これについては、四つの目標と10の重点施策を柱に9月下旬の閣議決定に向けて進んでおり、国の動向を注視しながら、中小企業者の支援策にしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

## 福祉

### 認知症サポーターの増員を

(伊藤房代議員)

**Q** 認知症を理解し、認知症の人や家族を見守る認知症サポーターを増やし、安心して暮らせるまちづくりをするため、旭市としても認知症サポーター養成講座を開き、一人でも

多くの認知症の人に対応していくことができないか質問します。

**A** 本市では平成21年度からサポーターの養成を開始し、現在までに民生委員、事業所の方々、1,328人に認知症サポーターになっていただいています。今年度は、一般市民を対象に広報で募集し、7月24日に開催したところ、21人の参加が得られ好評でしたので、追加実施を本年度予定しています。一人でも多くの方が認知症の方や家族の応援者になってくれるように啓発してまいりたいと思っています。

### 申請者への支援を

(伊藤房代議員)

**Q** 介護サービスの利用を希望する人は認定の申請が必要ですが、自己申告をできていない人がいます。要介護・要支援の必要な人たちで、申請の仕方などが分からないため受けられない人たちがいるのではないかと考えます。各地域を回って申請の仕方など、分かりやすく説明し、家族の方にも一緒に説明を聞いてもらうために、地域ごとの説明会を開くことがで

きないでしょうか。

**A** 一般の高齢者に対する基本チェックリストの実施や、一人暮らし高齢者や高齢者世帯の訪問調査により、介護サービス等支援が必要な方の早期発見に努めています。また、ご自分で申請できない方については、地域包括支援センターの職員が自宅を訪問し、申請の代行や適切なサービスにつなぐ支援を行っております。今後も地域に出向いての出前講座等を活用して、総合窓口の啓発を行うとともに民生委員等との連携や地域住民による見守り活動の推進により、高齢者支援に取り組みでまいりたいと思います。

## いいおか荘

### 契約書の中身は

(滑川公英議員)

**Q** 契約書の内容は、みやぎ蔵王高原ホテルに10年間無償貸与する。しかしながら、飯岡地区復興のシンボルとして早期にいいおか荘の営業を再開してもらう契約だと、誰もが信じていたことだと思います

が、契約書を見ますと再開の日は全く触れておりませんでした。このような契約を誰が取り決めたのか。それとも、この契約書のほかに約定書とか工程表の附属書があったのか、質問します。

**A** 契約書以外の約定については、特になさるようなものはございません。工程表は、現時点ではございませんが、業者からの応募申込書の中の事業計画書には、はつきり2013年12月より営業を開始したい、その1か月前、11月より一部従業員を雇用開始したいという資料はいただいています。それに従って我々は業務を行うということで理解をしていました。



再開時期が未定のいいおか荘

# 常任委員会の審査

## 建設経済常任委員会



成田国際空港を視察する建設経済常任委員会委員

9月18日(木)午前10時より、本委員会が開催され、付託された1議案の審査を行いました。

議案第9号平成26年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「商業活性化推進事業について、事業予定の商店街名と事業内容は。」との質疑があり、「塚前通り商店街と新町通り商店街はいずれも防犯灯のLED化を予定している。また本町通り商店街は街路灯の改修、防犯カメラの設置、街路舗装の整備、駐車場の整備等を予定している。」と

## 文教福祉常任委員会

9月19日(金)午前10時より、本委員会が開催され、付託された5議案の審査を行いました。

議案第9号平成26年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「住宅用省エネルギー設備設置助成事業について、設備18件の具体的な内容は。」との質疑では、「太陽光発電設備以外で、エネファームが6件、家庭用蓄電池が6件、エネルギー管理システムが5件、電気自動車充電設備が1件となっている。」との答弁がありました。

議案第10号の審査では、「待機児童数ゼロを目指し、国が制定を求めた条例と思われるが、市内保育所の定員と入所者数は。」との質疑があり、「私立保育所5か所の合計は定員500名に対し、入所児童数574名、入所率は114%、公立保育所13か所の合計定員1,275名に対し、入所児童数は1,165名、入所率は91%で、待機児童数はゼロとなっている。」との答弁がありました。



飯岡診療所を視察する文教福祉常任委員会委員

## 総務常任委員会

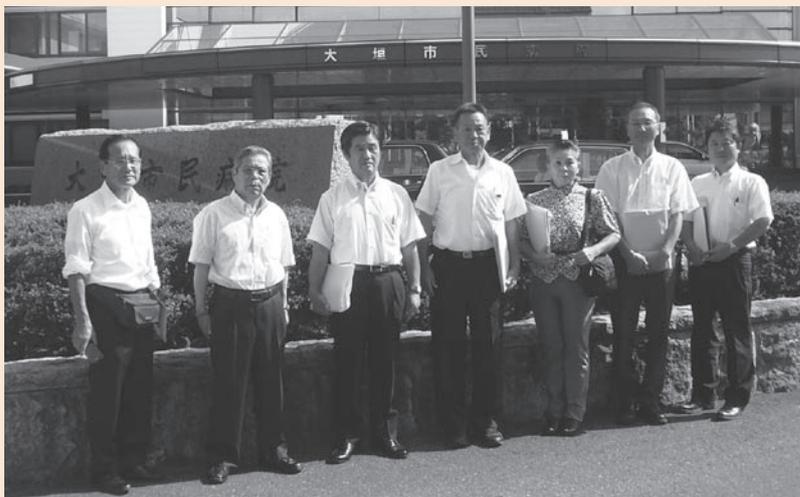


香取市議会議場を視察する総務常任委員会委員

9月22日(月)午前10時より、本委員会が開催され、付託された7議案の審査を行いました。

議案第9号平成26年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「企画事務費の報償費は国土強靱化地域計画検討委員に対してのものとのことだが、委員の構成はどのようになるのか。」との質疑があり、「委員の構成は、学識経験を有する者として大学の教授と准教授の2名、各種団体を代表する者として7名、市民の代表として4名、行政機関の職員として内閣官房の企画官を含む3名で計16名となっている。」との答弁がありました。

## 行政視察報告



大垣市民病院を視察する文教福祉常任委員会委員

### 文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会では、7月29日から31日にかけて、岐阜県大垣市民病院と京都市の京都市立病院を行政視察しました。大垣市民病院は公営企業法一部適用、京都市立病院は独法化した病院です。

大垣市民病院は、旭中央病院に近い規模を誇る病院で、病院事業収益は約300億円、事業費用は約287億円ということで、純利益13億円の優良経営をしていました。黒字経営を継続されているポイントについては、5項目の答えがありました。①西濃医療圏において、唯一急性期に対応できる中核的病院として医療機器の高度化を進め、地域の期待に応えてきた。②国の医療行政の動向を見極め、または診療報酬の改定に対応し、収入を確保するとともに、未収金の回収を図り、経費の縮減を図ってきた。③先進的医療機器を早期導入し、これを長く使って減価償却費の増大を抑えた。④10対1看護など、絶対数の少ない医療スタッフで収益を上げてきた。⑤公営企業法一部適用で、病院の事務の一部を市で行っている。市が病院の事務の一部を負担しているということだ。

2日目は、平成23年4月1日に独法化した京都市立病院を視察しました。我々の訪問に内藤理事長をはじめ、執行部の皆様が対応してくれました。

内藤理事長は以前、旭中央病院に来院されたことがあり、旭中央病院は自治体病院の鏡で私を導ってくれた病院だと言われていました。

さらに、その当時の諸橋院長の教えを長年に渡って受けたことが、今現在の京都市立病院理事長としても大きなものがあると言われていました。

また、吉田旭中央病院事業管理者とは、月1回、全国自治体病院協議会常務理事会の会合で話し合っている間柄で、旭中央病院の状況についても承知しているとのことだ、私たちの質問にも積極的に答えてくれました。

なお、内藤理事長は、全国自治体病院地方独立行政法人連絡協議会の副会長をされている方です。

両病院ともしっかり管理運営されており、旭中央病院が今後どうあるべきかを考えるにあたり、大変参考になりました。

の答弁がありました。  
慎重審査の結果、全員賛成で原案のとおり可決するべきものと決しました。  
委員会の審査終了後、成田空港を行政視察しました。

その他の議案についても慎重審査の結果、5議案とも全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。  
委員会の審査終了後、旭中央病院、飯岡診療所、滝郷診療所等を視察しました。

その他の議案についても慎重審査の結果、7議案とも全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。  
委員会の審査終了後、香取市役所等を視察しました。

# 議長の

# うごき

平成26年6月4日以降  
の議長のうごき

## 6月

- 第36回旭市グランドゴルフ大会
- フォトコンテスト表彰式
- 詩歌大会表彰式

## 7月

- 第54回海匝支部消防操法大会 出場部激励会
- 旭市消防団意見交換会
- 千葉県体育協会功労賞及び千葉県東部都市体育研究協議会功労賞受賞祝賀会並びに千葉県東部五市体育大会反省会
- 平成26年度旭市防犯組合連合会総会
- 第54回海匝支部消防操法大会
- 第6回旭市長杯争奪パークゴルフ大会
- 平成26年度矢指ヶ浦・飯岡海水浴場の安全祈願
- 35周年記念チャリティー東総歌謡発表会



優雅に楽しく(第1回あさひフラ・フェスティバル)

- 東総地区広域市町村圏事務組合臨時会・全員協議会
- 干潟町中央保育園納涼会
- 第50回千葉県消防操法大会 出場部激励会
- 納涼俳句大会
- 旭市営海浜プール安全祈願祭
- 旭市防災資料館開館式
- 2014ミス七夕コンテスト審査
- 第1回あさひフラ・フェスティバル

## 8月

- 旭市子ども議会
- 旭市七夕市民まつり実行委員会
- 旭市子ども議会
- 旭市七夕市民まつり実行委員会
- 北総4市議会情報交換会
- 旭市老人クラブ連合会役員納涼会
- やすらぎ園納涼盆踊り大会
- 第10回旭市民音楽祭
- 旭市七夕市民まつり開会式
- 第10回旭市PTAバレーボール大会
- 第9回全国市議会研究フォーラム

### 議会を傍聴しませんか

第4回定例会が12月1日(月)から行われます。

議会開会中は、議会を傍聴することができます。希望される方は、市役所3階までおいでください。

なお、市役所本庁と各支所ロビー、海上・干潟公民館、飯岡福祉センター、総合体育館のテレビで、本会議の様子は放映しています。

また、市ホームページでは議会ライブ中継及び議事録の公開をしております。

さらに、議会録画中継(本会議)も日程終了後のおおむね7日程度で視聴することができますので、ぜひご利用ください。

詳しくは議会事務局へ

☎ 62・5304  
FAX 62・5384

## 9月

- 七夕飾付コンテスト
- 旭市七夕市民まつり
- 平成26年度旭市総合防災訓練
- 地曳き網漁テレビ放映

### 編集後記

皆さんこんにちは、議員活動もお陰様で早一年になろうとしています。この間、議員としてのルールやマナーなど先輩議員から指導を受けながら、このまちで生まれ育ったことに大きな誇りと喜びをもって、精一杯活動しています。四月からの消費増税や更なる年金の引き下げの中、皆さんの暮らしはいかがでしょうか。本市の財政は厳しくなる事が予想されますので、財政状況や事業計画をしっかりと見極め「守るもの・攻めるもの・我慢するもの」などメリハリをもって取り組みたいと思います。

旭市の更なる発展のため、是非皆さんの意見や要望をお聞かせください。議会だよりについては親しみやすく、分かりやすい紙面づくりを心掛けて参りますので、引き続きご愛読お願い致します。

(委員・林 晴道)

旭市議会だより編集委員会

- 委員長 伊藤 保
- 副委員長 高橋 秀典
- 委員 有田 恵子
- 委員 林 晴道